



元気な掛け声で 末広小学校餅つき大会

12月1日、末広小学校で恒例の餅つき大会が行われ、児童だけでなく地域の方々も参加し「よしよ、よしよ」と元気な掛け声が体育館に響きました。児童らは、大人から手ほどきを受けながら、重い杵を二人がかりで振り下ろしたり、杵にくっついて伸びる餅に歓声を上げながら、餅つきに挑戦していました。

シーズン中の安全を祈願 スキー場開き

花輪スキー場と水晶山スキー場の「スキー場開き」が、12月8日に行われ、参加した関係者がシーズン中の無事故と多数の来場を願う、神事とテープカットを行いました。児玉市長は、「今シーズンは、大きな大会も予定されており、多くの来場者で賑わうことを願っています」と挨拶しました。



元プロ選手が伝える 野球人の集い

12月10日、元プロ野球選手の小野仁氏が、交流センターで講演会を行いました。小野さんは、「野球を通じて、多くの仲間ができた。礼儀や忍耐力も身に付く。それほど野球は素晴らしいスポーツだ」と魅力を語りました。最後に、「とにかく野球を好きになってほしい」と野球人口の拡大に願いを込めました。



急な災害に備えて 避難訓練コンサート

コンサート中に災害が発生したことを想定し、避難訓練を行う催しが、12月10日に文化の杜交流館コモッセで行われました。訓練では、コンサート中に急に照明が消え、地震を模した効果音が会場に響きました。スタッフは現状確認した後、来場者を誘導しホールの外へ避難させ、緊急時の安全対策を確認しました。

子どもに英語の楽しさを えいごdeレッツスポーツ

英語を使ってスポーツを教えるイベントが、12月16日に文化の杜交流館コモッセで開催されました。開始から英語だけの説明に子どもたちは戸惑っていましたが、終盤にはすっかり英語に慣れている様子でした。講師の内ヶ崎郡氏は「外国人が困っていたら、助けて欲しい。言葉は通じなくても、伝えようとすると伝わります」と話しました。



患者の迅速な搬送へ 緊急流入路開通セレモニー

東北自動車道へ緊急車両が乗り入れできる緊急流入路の開通セレモニーが12月17日に行われました。この緊急流入路は、緊急車両が高速道路に到達するまでの時間を短縮するもので、従来より冬季で11分ほど時間を短縮できます。テープカットの後、乗り入れ訓練を行い、緊急車両がゲートをくぐると、来場者から拍手が起りました。



地域に伝わる獅子舞と駒踊 民俗芸能フェスティバル

12月3日、文化の杜交流館コモッセで、鹿角市民俗芸能フェスティバルが開催されました。市内の獅子舞・駒踊3団体に、北秋田市と青森県十和田市からの出演を加えた合計5団体が、代々受け継がれる伝統の演技を披露しました。どの団体も、後継者不足を心配しながらも、地域の貴重な伝統を引き継いでいきたいと抱負を述べていました。



出演団体
大森親山獅子大権現舞
松館天満宮三台山獅子大権現舞
下川原駒踊
福田獅子舞(北秋田市)
南部駒踊(青森県十和田市)

「地消地産」のススメ 鹿角市産業活力塾

12月17日、市が若手経営者や起業家向けに開講した「産業活力塾」の公開講座が文化の杜交流館コモッセで行われました。地域活性化や人口減少について数々の著書を手掛ける講師の藻谷浩介氏は、「地域にお金落ちる仕組みを考えていくことが大事で、そのために地元産品を購入していくことが必要」と「地消地産」を促しました。

